

お名前	青木 直人 (あおき なおと)	
(年齢) 68歳	(所属党派) 無所属	
連絡先	電話	072-624-5036
	Fax	072-624-5036
	E-mail	rs.n.aoki@nifty.com
WEBサイト	<a href="http://www.naoto-aoki.com">http://www.naoto-aoki.com</a>	

【茨木市議会議員選挙にあたっての立候補予定者への公開質問内容】

(ご回答の要領…①各質問に記述の要領により、ご回答をお願いします。

②ご意見等がある場合は、自由記述欄あるいは2枚目の余白部分にご記入ください。

質問(1)：「茨木市議会基本条例」について、どのように考えられますか(?)。

〔(A)・(B)・(C)のどれか、該当する□内に✓をご記入ください。〕

(A)  議会の改革・活性化を図るにふさわしい条例である。

(自由記述： )

(B)  議会の改革・活性化には、さらに検討すべき点がある。

(自由記述： )

(C)  本市議会にとってふさわしい条例でない。

(自由記述： )

質問(2)：茨木市議会活動・運営は、市民の期待に答えていると考えられますか(?)。

案内文で触れている「みえる議会」・「わかる議会」・「いかす議会」について、市民の視点では、次のような姿が望まれますが、それぞれに関し、どのように評価されているでしょうか(?)。

「みえる議会」…茨木市議会の実態を知り、議員活動や議会運営への関心を高められるよう、広報の充実などにより、市民に開かれ、身近な議会であること。

「わかる議会」…議会の存在意義や実績を理解し、問題意識を深められるよう、多様な対話機会の設定などにより、市民に説明責任がなされ、信頼される議会であること。

「いかす議会」…市民が責務を自覚するなか、QOL(生活の質)が向上できるよう、議会制度における参画の拡充・活用により、市民が参加・協働のできる議会であること。

〔それぞれの実現度を5段階(\*)で評価のうえ、[ ]内に該当する段階のマークをご記入ください。〕

(\*)5段階：充分実現している＝[◎]、実現できている＝[○]、検討すべき点がある＝[△]、あまり実現していない＝[×]、評価できない＝[－]

「みえる議会」について … [◎] (自由記述： )

「わかる議会」について … [◎] (自由記述： )

「いかす議会」について … [◎] (自由記述： )

質問(3)：議員活動にあたっては、どの点を重視されますか(?)。

〔以下に記載の10項目のうち、特に重視される点を5つ選択し、該当する□内に✓をご記入ください。〕

- |  |  |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> 地元住民の要望・意見を聞く活動                   | <input type="checkbox"/> 所属会派中心の合意形成に努める活動         |
| <input checked="" type="checkbox"/> 行政運営を監視・評価する活動         | <input type="checkbox"/> 議員間の自由な討論を充実する活動          |
| <input checked="" type="checkbox"/> 市民に議会活動の報告をする活動        | <input type="checkbox"/> 市民全体の福祉向上を目指す活動           |
| <input type="checkbox"/> 自らの資質向上に努める活動                     | <input checked="" type="checkbox"/> 議会の改革・活性化を図る活動 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 市民全体の奉仕者としてふさわしい活動 ( ) |  |
| <input checked="" type="checkbox"/> 本市の現在及び将来を見据えての活動 ( )  |  |

◆【立候補されるにあたってのご決意や前掲質問に関するご意見等をご記入ください。】

十数年前に親しい友人をがんで失った私は、体や健康に関する知識をまったく持たないことに気づかされました。これをきっかけに、計測機器を使い、体に良いもの・良くないものを調べることがライフワークになりました。テーマはマイナスイオン、抗酸化物質、シャンプーや化粧品、温泉水などに及びましたが、私たちの日常生活において最も身近である水道水に含まれる塩素の肌への影響の大きさに驚かされました。

また、温泉化粧水の商品開発で温泉施設に勤めた時には若い女性の多くが「乾燥肌」であること知らされました。肌(皮膚)は体の全体を覆い外部からのアレルギーや細菌を防ぐとともに内部器官を保湿し保護する砦です。肌の表面にあるべき皮脂膜と角質層が欠損して起こる「乾燥肌」はアレルギー疾患の入り口になります。

このような体験から茨木市民、とりわけ次代を担う子供や孫たちの「体と心の健康」のために次の提案をいたします。

・全国的にみると比較的穏やかな濃度とはいえ、水道法の最低濃度 0.1mg/L を上回る実勢 0.3mg/L から 0.4mg/L で運用されている茨木市の水道水塩素濃度の見直し

・空き缶を念頭に平成 11 年に施行された「茨木市空き缶等のポイ捨て防止に関する条例」を今や小売物販の中心となったコンビニで購入され捨てられる吸い殻、食べかす、レジ袋に重点をシフトした条例への変更と厳罰化、それにとまなう「割れ窓理論」による犯罪の減少の実現

『天与の幸に京阪を結ぶ往来(ゆきぎ)の賑わいに産業栄える新興の理想の都 茨木市』茨木市歌の 3 番の歌詞です。

幼い頃に誇らしく唱和した当時の茨木市には、松下電器産業(現パナソニック)、東芝、サッポロビールの工場があり、これらの大企業からの税収によって茨木市は裕福な市であると教えられた記憶があります。

それから数十年、上記の工場はいずれも撤退し、近隣にあった協力企業も多くが姿を消してしまいました。

改めて、現在の茨木市の歳入を市のホームページに掲載されたデータから見ると隔世の感があります。

税収の伸び悩みと法人市民税の減少が見て取れます。

平成 27 年度まで、わずかずつながら人口が増え続ける茨木市ですが、個人市民税は伸び悩んでいます。

しかし、今後は住民を増やすことで個人市民税を伸長させることが財政維持の唯一の方法ではないでしょうか。大阪府下において、人口減が本格化するのこれからで、国立社会保障・人口問題研究所のデータによる長期の予測では、2040 年には 2010 年に比べて 15.9% の減少が見込まれています。

各地方自治体では、これから本格的に小さくなるパイの獲得を目指した住民の「取り合い」が始まることは必至です。次に茨木市の「健全な発展」のために次を提案します。

- ・市民、市職員、議会が新住民を獲得し財政を維持するための運命を共にする事業体の一員であるという意識改革を
- ・上記の新「ポイ捨て防止条例」と連動した団体ボランティア、個人ボランティアの組織化と顕彰化と市民活動化
- ・「ハード(箱物)行政から住民の「体と心の健康」を重視した「ハート」行政への転換
- ・これらによる『I BARAKI』の人と街のブランド確立による新住民の獲得

新局面に突入した地方自治体の財政を、前例や慣例にとらわれない発想で新たな付加価値を創造することで市民一人ひとりがルールを守り、誇りを持てる街、『熱く語れる』茨木への新時代の魁にならんと欲するものです。

以上